



- ・【厚生労働省】毎月勤労統計調査地方調査結果(東京都)抜粋
- ・【総務省】消費者物価指数調査(東京都)抜粋
- ・月間平均給与は、毎月の給料、諸手当の他、賞与を含めた金額の平均で、所得税や社会保険料控除前の数字
- ・消費者物価指数については、平成27年を100.0(基準)として算出

【毎月勤労統計調査】

常用労働者5人以上の事業所から対象事業者を抽出し、賃金や労働時間等を毎月把握するための調査。
調査結果により、景気動向を判断する一つの指標となるほか、厚生労働政策や経済政策の基礎資料、企業の労働条件決定の際の参考資料となる。

【消費者物価指数】

消費者物価指数とは、消費者が購入するモノやサービスなどの物価の動きを把握するための統計指標で、総務省から発表されている数値をいう。消費者物価指数の変化をもって物価の変動を見ることができるので、消費者物価指数は、国民の生活水準を示す指標のひとつになっている。

また、物価は、国民のお金回りが良くなり、モノを買う人が多くなれば上昇率が高まり、逆にお金回りが悪くなり、モノを買う人が少なくなると、上昇率が下降する傾向にあるため、その物価の変動がわかる消費者物価指数はさまざまな国内の経済政策を決める上で、非常に重要な指数として使われている。

【変動がある時期の主な理由】

- ・平成10年：山一証券破綻
- ・平成20年：リーマンショック
- ・平成23年：東日本大震災